



No.1 : H27.7.17
 編集 : SGH 推進室
 発行責任者 : 新屋長二郎

SGH校として ～校長先生からのメッセージ～

校長 新屋 長二郎

SGH事業の目的は、急速なグローバル化が進行する現代社会が直面しているさまざまな社会課題を発見し、それらに関する探究型学習・課題研究を通じて解決策を模索しようとするものです。

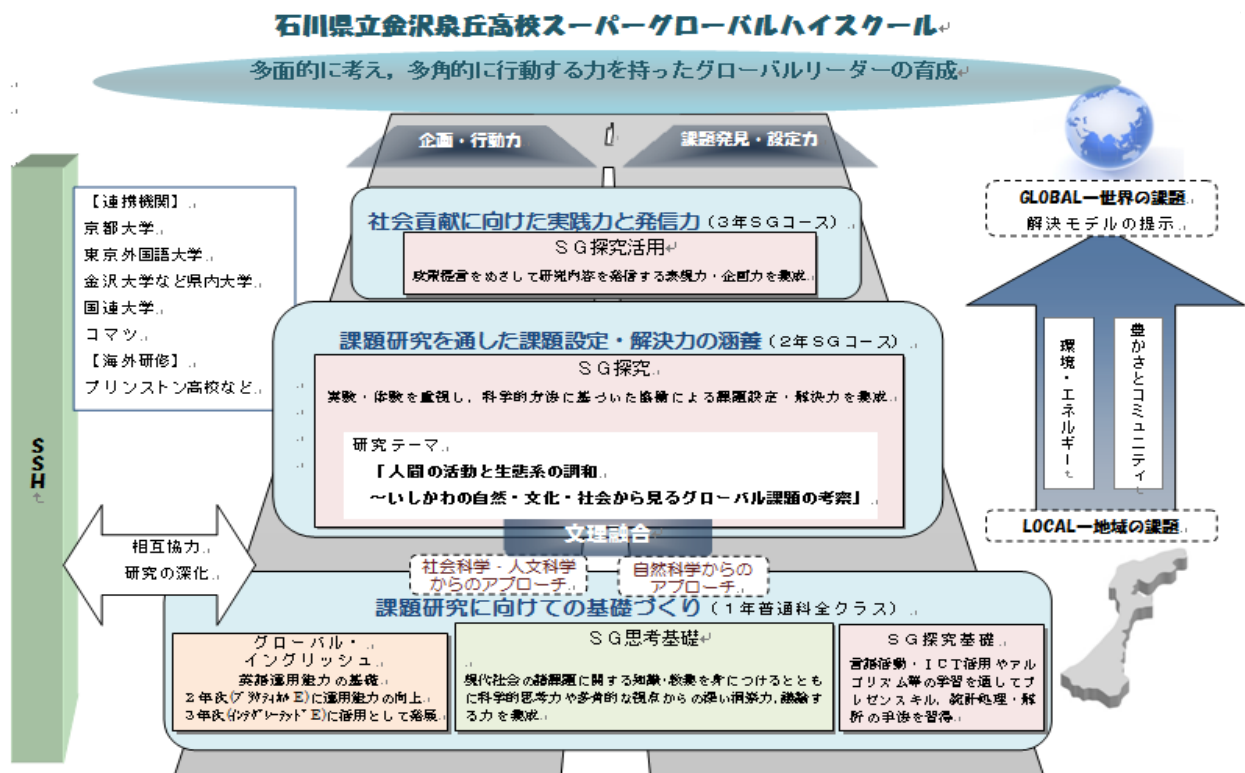
その過程において、これからのグローバル・リーダーが備えるべき「深い教養」「国際感覚」「多方面に渡る高度な思考力」「主体的な行動力」「実践的でグローバルなコミュニケーション力」などさまざまな資質・能力を育成することが期待されています。

本校の事業のメインである2年時の「SG探究」では、「人間の生活と生態系の調和 ～いしかわの自然・文化・社会から見るグローバル課題の考察」を研究テーマとして、実験・体験や、科学的アプローチを重視し、本校SSHとの連携・協力を図りながら探究を進めていきます。

「持続可能な未来の創造」ということを考えるとき、豊かな自然に恵まれたふるさとに軸足をおき、ローカルの課題をしっかりと把握して研究を進めることが、また、グローバルな課題にも繋がっていくものと信じています。

京都大学・東京外国語大学・金沢大学・国連大学をはじめとする県内外の大学、グローバル企業であるコマツなどの外部機関からも可能な限り協力していただきながら、より質の高いプログラムになるよう5年間の計画を進める中で、改善に努めていきたいと考えています。

強靱な心身を備え、世界をも視野に入れて、様々な難題に積極的にチャレンジしていく気概を持った若者を育てることをめざし、大学進学後、更には、その先をも見据えて、このSGH事業を展開していきたいと考えています。



1年生での取り組み

3つの学校設定科目に取り組みます。

SG思考基礎

現代社会の基礎知識・理論の習得に加え、今日の社会の諸問題について、ディスカッション等を通して、多面的・科学的に考え、協働して合意形成を行う力、論理的に表現する力を養います。2学期は「環境・エネルギー」問題について議論します。

グローバルイングリッシュ

英語でのプレゼンの基礎を学び、実践としてパフォーマンステストを行います。まずストレスフリーに、楽しく人前で話せるようになる練習だと思って取り組んでいきましょう。今後、金沢大学の留学生とのディスカッションも予定しています。

SG探究基礎

2年生以降の課題研究に向けて、プレゼンスキルや統計学の基礎を学び、課題解決の方法や表現力を身につけます。

SG思考基礎では、TPPで求められるコメの輸入量を国民一人あたりのおにぎりの個数に置き換えることを通して、数値の表し方を学ぶ演習をしました。写真はコメの重さを量っているところ。



英語でのプレゼン風景



7月14日(火)のSG探究基礎では、「大学の学部・学科」のプレゼンが行われました。

東京外国語大学林先生の特別講義

SG思考基礎の授業の一環として、東京外国語大学の林佳世子先生(副学長・教授)をお迎えし、「グローバル社会における諸課題」というテーマで講義をしていただきました。「昨今世界は一つになりつつあるが、問題はそのプロセスである。そしてそれには必ず長所と短所がある。」という鋭い視点からのお話は、生徒たちの中に新たな知見を生むきっかけとなったことと思います。普段様々な国籍の学生を指導している林先生ならではの切り口から現代社会の諸課題についてお話いただいたことで、新しい視座を獲得できた生徒も多かったようです。



生徒の感想

・私は今まで、グローバル化をすることはいいことばかりだと考えていましたが、悪い面もたくさん存在することがわかりました。私は、弱肉強食はもともと資本主義の基本なので、これが世界規模になるとより厳しくなると思いました。

・この講義でいちばん納得させられたのが、自分のことだけ自分の国のことだけを考えるのではなく、客観的に見て、相手の考え、正義も理解するというのが、問題解決に近づくことだという指摘でした。

次回は・・・

「グローバルリーダーシッププログラム」

(人生・夢等のテーマを通して、生徒が留学生と英語でディスカッションするプログラム)が8月17日(月)～8月19日(水)に本校にて行われます。

その様子や参加生徒の感想等をお伝えします。

